

化学療法未治療去勢抵抗性前立腺がんにおけるエンザルタミドの効果予測因子としての好中球数・リンパ球数比を評価するための後方視的研究

1. 研究の対象

2014年5月1日から2015年1月31日までの期間に当院にて、前立腺がんに対して抗がん剤による治療が行われる前に、エンザルタミドによる治療が行われた方

2. 研究目的・方法

本研究は去勢抵抗性前立腺がんと診断されエンザルタミドによる治療が行われた患者さんを対象としています。エンザルタミドは昨年日本で承認された新たなホルモン剤ですが、いまだその効果が期待される患者さん、逆に効果が期待できない患者さんを予測することは出来ません。今回の研究によって、治療開始前の好中球数・リンパ球数の割合によってエンザルタミドの効果の出現具合が異なるかどうかを明らかにすることを目的としています。

この研究は現在の前立腺がんの内分泌療法の状況を把握し、より効果的な内分泌療法の投与順序を明らかにするためのデータが収集されるため、その意義は大きいと考えます。

本研究では、当院における診療情報のデータを院内で収集および解析する形式で行われます。

研究実施期間：3年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者さんの年齢、治療の内容、画像所見、治療結果、生存期間 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

研究結果については学会発表、英文での論文発表を予定しています。

5. 研究組織

東邦大学医療センター佐倉病院	泌尿器科	鈴木啓悦
横浜市立大学大学院	泌尿器科	上村博司
北里大学病院	泌尿器科	佐藤威文
埼玉医大総合医療センター	泌尿器科	川上理
国立がん研究センター東病院	乳腺・腫瘍内科	松原伸晃

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科 松原伸晃
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
TEL:04-7133-1111 FAX:04-7131-9960

研究代表者：国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科 松原伸晃